

## <自主的努力項目記入書式>

提携先	有限会社月山パイロットファーム	記入日	2009/8/20
登録消費材名	民田茄子のからし漬、青菜漬、赤かぶ漬、白こうじ漬たくあん、ハリハリ大根、ひたし豆、割り干し大根漬、冷凍ただちゃ豆		

### I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

・消費材のクオリティ向上 ～異物混入の撲滅～

#### ① 製造中の異物混入の撲滅

毎年事故事例をもとにして、都度都度対策を施し、異物混入事故を減少させてきた。しかし、まだ全廃までは至っていない。対処による対策だけでなく、システムの・構造的に可能性を減少させる対策をまだ確立できていない。

#### ② 原料由来の異物の混入対策

洗浄方法の見直しを工程の増加などで対策を行ってきたが、全廃まで至っていない。洗浄回数や洗浄時間の増加は、原料の味の低下も招くため、完全な全廃は困難と思われるが、視点を変えた対策を模索中。

・記録の整備

各種記録を毎年充実させてきたが、HACCPやISO水準には至っていない。毎年、都度都度の見直しを行い、充実を図っている。

・環境負荷の低減

原料栽培から、加工まで、すべての工程での環境負荷の低減を目指してきた。特に近年は原料栽培でバイオ燃料を活用し、CO2排出量を減少させてきた。バイオガスなどのさらなる向上余地がある。

### II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

・異物混入対策に努め、異物混入を減らすことができた。さらにシステムの対策に昇華して、継続できることが必要。

・工場の改修については、加工場内の床面および壁面の改修を行った。まだまだ老朽化部分があること、また設計が古く、食品工場としては不利な部分があるので、運用と改修で向上させることが必要。

・自主管理チームの作成まで至っていない。人材の入れ替え等があったため、落ち着いたら改めてチーム編成を行い、順次実行する。

・原料栽培などでのバイオ燃料の使用量を増やし、CO2排出は一層抑えることができたが、バイオガスの利用実験は、延期している。プラント作成を含め、実験までの課題は大きい。

### III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

・自主管理チームの編成を行い、衛生管理マニュアルの刷新を行う。

・すべてのマニュアル、記録様式の見直しを行い、原料栽培、入荷から最終出荷までをはっきりとトレースできる体制を作る。

・燃料を含め、よりCO2排出を低下させる。